

2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月6日

上場会社名 株式会社インテージホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4326 URL <https://www.intageholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仁司 与志矢
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 竹内 透 (TEL) 03-5294-7411
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	15,057	5.2	187	△5.7	106	△66.1	1,132	653.8
2024年6月期第1四半期	14,306	1.3	198	△65.4	314	△65.3	150	△78.3

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 1,227百万円(278.3%) 2024年6月期第1四半期 324百万円(△55.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	29.70	—
2024年6月期第1四半期	3.95	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	45,310	32,012	70.1
2024年6月期	45,318	32,439	71.1

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 31,780百万円 2024年6月期 32,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	43.00	43.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,500	5.7	1,100	△28.1	1,100	△32.9	2,000	97.0	52.48
通期	68,000	7.5	3,800	15.5	3,800	7.2	3,700	50.6	97.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社ドコモ・インサイトマーケティング、除外 1社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期1Q	40,426,000株	2024年6月期	40,426,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	2,296,620株	2024年6月期	2,296,620株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期1Q	38,129,380株	2024年6月期1Q	38,073,166株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2024年7月1日から2024年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループが事業を展開するアジア地域の景気は足踏み状態となっております。

当社グループは、第14次中期経営計画のグループ基本方針である「Data + Technology企業としてのNew Portfolioへ - 新たな価値発揮の創出 -」の実現に向けて、2年目となる当連結会計年度において『Synergy&Optimization』を経営方針として掲げ『Synergy』をキーワードとした事業領域の拡大と『Optimization』をキーワードとしたグループ経営資源の最適化を推進してまいります。

当社は、2024年4月22日付「株式会社ドコモ・インサイトマーケティングの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年7月1日付で株式会社NTTドコモ及び当社の合弁会社である株式会社ドコモ・インサイトマーケティングを完全子会社といたしました。

当社の連結子会社である株式会社インテージヘルスケアは、2024年6月17日付「連結子会社による会社分割（新設分割）および新設会社株式の譲渡ならびに特別利益の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年9月2日付で同社が行うCRO事業をアルフレッサ ホールディングス株式会社に譲渡いたしました。

マーケティング支援（消費財・サービス）事業においては、国内では既存事業の伸長に加え、顧客への提供価値の向上、値上げの実施による利益確保及びSCIの刷新等の投資を推進しております。また、株式会社NTTドコモと連携をした新規サービス・ソリューションの開発及び営業連携に注力してまいります。海外では国内・海外拠点間連携等による営業体制の強化を推進してまいります。

マーケティング支援（ヘルスケア）事業においては、ヘルスケアにおける意思決定パートナーの実現に向けて、リアルワールドデータなどを通じて得られる事実ベースのデータに医療消費者の意識や行動のデータを加えることで生活者の理解をより深めてまいります。また、医療消費者視点の重要性から統合データベース（CrossFact）のバージョンアップなど医療リアルワールドデータの強化も継続して推進してまいります。

ビジネスインテリジェンス事業においては、データ統合基盤・活用ビジネスの拡大、業界共通課題を解決するソリューションサービスの開発、ビジネス変革を支援する既存顧客システムの刷新を重点課題として掲げ、事業成長を加速してまいります。

グループ全体としては、引き続き取り組んでいる領域拡大を目指した投資の増加が当社グループの業績に影響を与えておりますが、これまで通り安定的な財務基盤に基づく資本政策の強化、グループ間連携のビジネス創出、人的資本を始めとした非財務資本増加のための施策実施、及びサステナビリティの強化等を推進しております。

なお、上記のCRO事業の譲渡により特別利益において事業譲渡益を計上しており、移転した事業に係る資産及び負債の価額やクロージング時の譲渡対価調整等により当初想定した事業譲渡益の金額を下回るものの、前年同期を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益を計上しております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高15,057百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益187百万円（同5.7%減）、経常利益106百万円（同66.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,132百万円（同653.8%増）となりました。

事業分野別の状況は次のとおりであります。

①マーケティング支援（消費財・サービス）事業

マーケティング支援（消費財・サービス）事業の連結業績は、売上高10,066百万円（前年同期比11.7%増）の増収となり、営業損失290百万円（前年同期の営業損失は295百万円）となりました。

当事業では、パネル調査・カスタムリサーチは前年水準を維持しております。株式会社インテージリサーチ・株式会社リサーチ・アンド・イノベーションは好調に推移しております。また、株式会社ドコモ・インサイトマーケティングは増収に大きく寄与しております。

海外事業も前年を上回る水準で推移しております。投資活動においては、SCIの刷新など計画通り進捗しております。

利益面については、増収による増益効果があるものの、投資費用、人件費および中長期的な業績拡大を目的とした株式会社NTTドコモとのシナジー事業立ち上げによる費用先行の影響で営業損失は前年同水準となりました。

②マーケティング支援（ヘルスケア）事業

マーケティング支援（ヘルスケア）事業の連結業績は、売上高3,184百万円（前年同期比5%減）、営業利益279百万円（同9.8%増）の減収増益となりました。株式会社インテージヘルスケアにおけるCRO事業の売却の影響で減収となりましたが収益性は大幅に改善しました。当事業においては、株式会社インテージヘルスケアの主力であるリサーチ事業において、医療領域のカスタムリサーチが売上・営業利益ともに前年を上回る水準で推移しており利益の向上に貢献いたしました。

③ビジネスインテリジェンス事業

ビジネスインテリジェンス事業の連結業績は、売上高1,807百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益197百万円（同17.6%減）の減収減益となりましたが、売上・営業利益とも計画水準での推移となりました。当事業では、株式会社インテージテクノスフィアにおいて、新たな取組として重点投資分野に据えたデータ統合基盤・活用ビジネスが堅調に推移したものの、前期大型案件の反動減の影響もあり前年を下回る水準で推移しております。株式会社ビルドシステムについてはローコード開発案件の好調により前年を上回る水準で推移しております。

利益面については、売上同様前期大型案件の反動減の影響を受け減益となっております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ153百万円減少し、27,851百万円となりました。これは、仕掛品が500百万円増加したものの、現金及び預金が948百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が926百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ145百万円増加し、17,458百万円となりました。これは、投資有価証券が2,406百万円減少したものの、のれんが2,113百万円、繰延税金資産が231百万円、退職給付に係る資産が196百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は8百万円減少し、45,310百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ416百万円増加し、12,306百万円となりました。これは、買掛金が78百万円、賞与引当金が980百万円減少したものの、未払法人税等が522百万円、その他が960百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、991百万円となりました。これは、リース債務が22百万円、株式給付引当金が42百万円減少したものの、資産除去債務が57百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は419万円増加し、13,297百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ427百万円減少し、32,012百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が145百万円増加したものの、利益剰余金が523百万円、その他有価証券評価差額金が44百万円減少したことなどによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,045,279	11,096,810
受取手形、売掛金及び契約資産	11,413,813	10,487,770
商品	25,402	26,113
仕掛品	1,859,716	2,360,176
貯蔵品	128,381	116,795
その他	2,538,923	3,770,304
貸倒引当金	△6,092	△6,239
流動資産合計	28,005,424	27,851,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,142,896	1,204,544
器具備品（純額）	291,810	378,500
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産（純額）	347,606	332,777
有形固定資産合計	3,780,470	3,913,979
無形固定資産		
のれん	711,421	2,824,814
その他	2,801,911	2,845,396
無形固定資産合計	3,513,333	5,670,211
投資その他の資産		
投資有価証券	5,920,277	3,514,212
繰延税金資産	1,622,811	1,854,051
退職給付に係る資産	688,061	884,683
その他	2,120,386	1,904,416
貸倒引当金	△332,260	△282,792
投資その他の資産合計	10,019,276	7,874,571
固定資産合計	17,313,079	17,458,762
資産合計	45,318,504	45,310,493

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,975,988	2,897,813
リース債務	162,711	168,535
未払法人税等	288,105	810,463
賞与引当金	2,199,639	1,219,306
ポイント引当金	2,299,060	2,284,928
その他	3,965,143	4,925,777
流動負債合計	11,890,649	12,306,824
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
リース債務	233,622	211,031
株式給付引当金	161,096	118,678
退職給付に係る負債	315,774	310,167
資産除去債務	104,675	161,983
その他	72,836	89,305
固定負債合計	988,006	991,166
負債合計	12,878,655	13,297,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,378,706	2,378,706
資本剰余金	1,796,219	1,796,274
利益剰余金	30,916,440	30,392,794
自己株式	△3,381,200	△3,381,200
株主資本合計	31,710,166	31,186,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,580	80,531
為替換算調整勘定	711,140	856,321
退職給付に係る調整累計額	△336,964	△342,840
その他の包括利益累計額合計	498,756	594,012
非支配株主持分	230,926	231,915
純資産合計	32,439,848	32,012,502
負債純資産合計	45,318,504	45,310,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	14,306,996	15,057,972
売上原価	9,612,566	9,792,868
売上総利益	4,694,430	5,265,104
販売費及び一般管理費	4,495,697	5,077,745
営業利益	198,732	187,358
営業外収益		
受取利息	5,995	6,710
受取配当金	1,927	30
持分法による投資利益	16,055	3,083
投資事業組合運用益	47,944	—
貸倒引当金戻入額	—	40,318
為替差益	30,089	—
その他	28,117	9,576
営業外収益合計	130,129	59,717
営業外費用		
支払利息	4,771	2,178
支払手数料	3,786	3,190
為替差損	—	117,845
貸倒引当金繰入額	4,227	—
その他	1,413	17,070
営業外費用合計	14,198	140,285
経常利益	314,663	106,791
特別利益		
事業譲渡益	—	1,588,041
特別利益合計	—	1,588,041
税金等調整前四半期純利益	314,663	1,694,832
法人税等	160,696	570,799
四半期純利益	153,966	1,124,032
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,742	△8,336
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,224	1,132,369

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	153,966	1,124,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,916	△43,660
為替換算調整勘定	178,805	153,300
退職給付に係る調整額	17,676	△5,875
その他の包括利益合計	170,566	103,764
四半期包括利益	324,533	1,227,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312,312	1,227,624
非支配株主に係る四半期包括利益	12,220	172

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び連結子会社は、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	9,015,160	3,353,476	1,938,360	14,306,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,015,160	3,353,476	1,938,360	14,306,996
セグメント利益又は損失(△)	△295,880	255,031	239,581	198,732

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	10,066,208	3,184,347	1,807,417	15,057,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,066,208	3,184,347	1,807,417	15,057,972
セグメント利益又は損失(△)	△290,115	279,983	197,490	187,358

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティング支援(消費財・サービス)」セグメントにおいて、株式会社ドコモ・インサイトマーケティングの株式を取得し連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては2,198,676千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	321,251千円	322,233千円
のれん償却額	30,316 "	85,283 "